

おさんぽマップ

～春まで楽しめる～

① ツバキ園

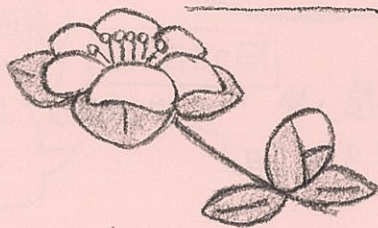
江戸時代に作出された品種や新潟大学の萩屋薫教授が作出した、ここで見ることのできないサザンカやツバキが多数あります。

ツバキとサザンカの違い

開花時期が異なり、ツバキは12月～4月、サザンカは10月～12月に開花します。

品種によって異なりますが、一般的にはサザンカの方が早く咲きます。

その他にも花が散る時、ツバキは花首から落ちるのに対してサザンカは、花びら一枚一枚が落ちるなど違いがあります。



お原貝い

雪の下にも植物があるので、園路以外歩かないようお願いいたします。

～秋の香り～

② スイセン(ニホンスイセン)(セガンバナ科)

原産地は地中海沿岸で、日本へは中国を經由して渡ってきました。

1茎に5～7輪の花を咲かせ、香りが良く他のスイセンよりも早く花を咲かせるのが特徴です。

④ ミヤマシキミ

～秋の紅葉が美しい～

③ モミジバフウ(フウ科)

3月～5月に花を咲かせた後、秋になると丸くトゲトゲした茶色の実をつけ、じきに落下します。

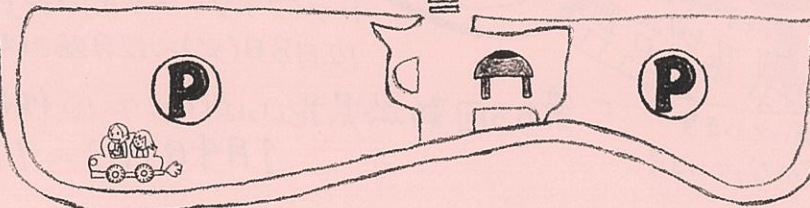
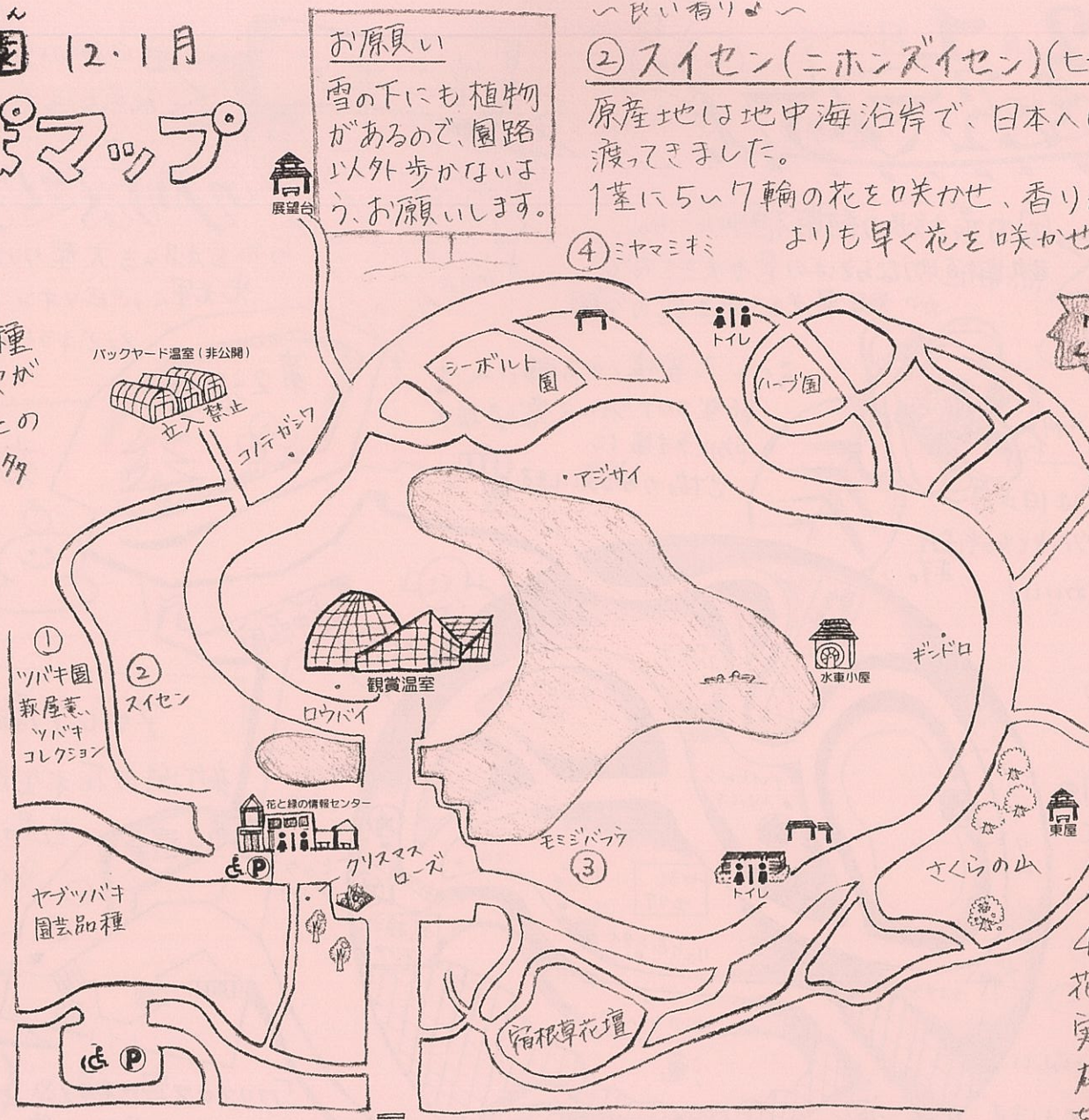
実はとてもかわいらしくクリスマスリースなどの飾りつけに用いられることがあります。

～真っ赤な実をつける～

④ ミヤマシキミ(ミカン科)

4月～5月に白色で香りのある花を多数つけ、その後につける実は真っ赤に色付きます。雄株と雌株がありますが、実をつけるのは雌株だけです。葉は厚く光沢があり、ミカン科の特徴である油点が点在し、葉をちぎるとミカンのような香りがします。

※葉や実には毒があるため注意!



園内の植物を折ったり、持ち帰らないで下さい。